

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コミュニティやわらぎ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 24日	～	令和 6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 6年 10月 24日	～	令和 6年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども及び保護者の満足度	一人一人の個性を大切に、その子に合った支援を心掛けている。	今後も、子どもや保護者のニーズに応じた、きめ細かい支援に取り組んでいく。
2	中高生を対象に、併設している就労継続支援B型事業所への職場体験を行っている。将来を見据えた支援ができる。	中学生は月に1回、高校生は月に2回の頻度で職場体験の場を設けている。	体験を行った後、報酬を貯めることで、好きな物を買えるようにし、働くことの意義や喜び、社会の仕組みが分かるようにしていく。
3	職員が意見を言いやすく、チームワークが良い。	気になったことなど振り返り、改善点を話し合ったり、支援の統一化や役割分担を行っている。	今後も、子ども達の様子をよく観察し、常に子どもの為になるように意識した支援をチームで行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	慣れない場での交流は、負担に感じる子どももいる為。	イベントに招き、地域の子たちを招待したり、慣れた場所で交流が持てるように工夫する。
2	災害発生時の引き渡し方法やマニュアルの周知不足。	就労している保護者が多いため、引き渡しの訓練は難しい。	マニュアルの周知ができていないので、法人のホームページに掲載する等検討していく。
3	PRや情報発信が弱い。	利用者に限られた公式LINEのみである。	ブログやインスタグラム等、情報発信するツールを使用し、SNSの活用を強化する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 3月 19日			
コミュニティやわらぎ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	活動内容によっては少し狭く感じることもあるので、公園などを利用し、体を動かす機会を設けています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	2	基準に沿って、必要人員を配置しています。	送迎と重なるときなど、人手が不足と感じる時があるので次年度に向けて検討中です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	活動する部屋と学習する部屋を区別して使用しています。	トイレや事務所が離れているので、動線の整備が必要と感じています。また壁面が少ないため、視覚支援の掲示物を掲示するスペースに限りがあります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	清潔で明るい空間作りをし、また子どもたちが集中して学習できるように衝立のある机を設置する等工夫しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	必要に応じて同建物内の放デイ外の部屋を利用しています。	個室がないので、クールダウンをする時には、更衣室を使っています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1	毎日、開始前に打ち合わせを行い、また週1回ミーティングを行い、振り返りや業務の確認等を行っています。	多機能の他サービス職員にも協力頂くなど工夫化されていると思います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者向け評価アンケートを、グーグルフォームにて実施しており、ホームページにて公表しています。	保護者の意向等を把握し、より良い支援の為に業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	週に1回、ミーティングを行い、振り返りや子どもの支援について話し合っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3		第三者による外部評価は受けたことがない為、今後検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	法人内外部の研修参加や研修伝達会を行っています。	今後も、研修で学んだことを事業所内で共有し、支援に活かしていきます。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	11		現在、作成中です。公表はホームページにて行います。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	支援計画の更新時期には、保護者と面談を行い、日頃の様子を伝え合い、ニーズや課題を話し合っで作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	計画書作成前には、職員間でモニタリングや支援会議を行い、一人一人に合わせた支援方法を話し合っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を意識しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	ガイドラインに沿って、それぞれの子どもに適切な支援目標の優先順位を付けて、具体的な支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	内容等、意見を出し合い、全職員で話し合っ決めていきます。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	マンネリ化しないよう新しい活動を取り入れたり、工夫しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	一人一人の状況に合わせて、個別活動や集団活動を組み合わせて、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	支援前、職員間で打ち合わせを行い、役割分担等確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	支援終了後には難しい日もあるが、大事なことは伝えたり、情報共有を行っています。	都合によっては、毎日振り返りができないことがあるので、週末のミーティングで振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	記録は、毎回とって、全職員が見返すようにしています。必要に応じて、話し合いをし、支援の統一化を図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	6ヶ月毎にモニタリングを行い、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	11	0	ガイドラインに沿って、それぞれの子どもに適切な支援をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	子どもの意見を大切に、自主性を高め、自己決定ができるような支援を心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	必要に応じて、併用している事業所にも参加してもらっています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	必要に応じて会議を開き、各関係機関と連携し、情報共有したり、役割分担等しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	行事予定や下校時刻表などを学校や保護者からもらい、連絡調整しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0	通っていたこども園や児童発達支援事業所へ出向き、見学させて頂いたり、情報共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1	まだそのような例がありませんが、卒業後を見据え、併設の就労継続支援B型事業所での職場体験を継続的に行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	2	出張講座や他機関の研修に参加し、スキルアップを図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	公園へ遊びに行った際に、地域の子どもたちと関わる機会があります。	イベントに招いたり、地域の子供たちを招待したりと慣れた場所で交流が持てるように工夫したいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	11	自立支援協議会へは参加していませんが、ホームページで会議録を確認しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	お迎え時、こちらでの様子を伝えたり、お家での様子を伺ったりして、共通理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	保護者向けに、ペアレントメンターさんを招いて子育て体験談の講演をして頂いたり、グループに分かれ子育てについて座談会を行ったりしました。	同じ立場の保護者として、悩みの相談にのってもらえ、気持ちが軽くなった、という意見も多く、好評でした。また開催したいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時に、丁寧な説明を心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	6ヶ月に一回、個別支援計画の更新時期にカンファレンスを行い、保護者と子どものニーズや意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	サービス計画を示しながら、支援内容の説明を行い、同意を得てサインを頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	悩みや心配事があれば、学校も交えて、その都度対応しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	1	保護者交流会の場として、ペアレントメンターさんの勉強会を実施したり、きょうだいで参加し交流できるイベントを開催しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応し、原因追及と再発防止に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	月の活動予定表や活動の様子をお便りにて配布し、公式LINEによる配信も行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1	事業所及び、従業者は業務上知り得た情報を第三者に漏洩しないよう、秘密保持に努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	口頭での申し送り、連絡帳やショートメールでのやりとりを行っています。活動の様子はお便りの裏面に画像を掲載しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	地域の方々にも参加してもらえるようお祭りを開催し、多くの方楽しんで頂けました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	各マニュアルを作成し、発生を想定した訓練を実施しています。	保護者に対して、マニュアルの周知ができていない為、ホームページに載せるなど検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	火災、地震、水害、不審者対応の避難訓練を2カ月に1回、曜日を変えて実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	契約の際に、既往歴などを確認しています。常備薬についても、変更の都度お知らせ頂いています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	医師の指示書に基づき、発作が起きた場合のフローチャートを作成し、すぐに対応できるよう全職員に周知しています。	対象児の利用日には、早番体制の職員を増やすなど、万全を期した対応が必要となってきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	設備の安全点検や、研修や訓練など、安全計画を作成し、安全管理の下で支援をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ミーティングで確認し、原因と再発防止策について話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	全職員、虐待についての研修を年1回必須で行っています。第三者委員会も設置されています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	自傷、他害行為があり、本人や他者に危険が及ぶと判断した際には、やむを得ず身体を抑えたり環境調整をして安全を確保します。支援計画にも記載し、同意を得ています。		